

○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類 信託期間	追加型投信／海外／債券 無期限	
運用方針	欧州ソブリン債 ポートフォリオ	安定した収益の確保および投資信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。
	米国ソブリン債 ポートフォリオ	
	欧米ソブリン債 ポートフォリオ	
ベビーファンド の主要投資対象	欧州ソブリン債 ポートフォリオ	「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とします。
	米国ソブリン債 ポートフォリオ	「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とします。
	欧米ソブリン債 ポートフォリオ	「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」および「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とし、各受益証券の基本組入比率は原則50%：50%とします。
マザーファンド の主要投資対象	しんきん欧州ソブリン債 マザーファンド	EMU（欧州経済通貨同盟）参加国の国債、政府機関債および国際機関債を主要投資対象とします。
	しんきん米国ソブリン債 マザーファンド	米国の国債、政府機関債および国際機関債を主要投資対象とします。
各ポートフォリオ のベンチマーク	欧州ソブリン債 ポートフォリオ	FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとします。
	米国ソブリン債 ポートフォリオ	FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとします。
	欧米ソブリン債 ポートフォリオ	各マザーファンドの受益証券のベンチマークであるFTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）を50%、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）を50%の配分比率で当社が算出した合成指数をベンチマークとします。
組入制限	各ポートフォリオ共通	株式への直接投資は行いません。株式への投資は転換社債の転換および新株予約権の行使により取得したものに限り、株式への投資割合は投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
	各マザーファンド共通	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
収益分配方針	分配対象額は、経費等控除後の繰越分を含めた利子・配当収入と売買益（評価益を含みます。）等の全額とし、基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないこともあります。	

運用報告書(全体版)

しんきん 海外ソブリン債セレクション

欧州ソブリン債ポートフォリオ
米国ソブリン債ポートフォリオ
欧米ソブリン債ポートフォリオ

第85期（決算日：2024年8月15日）

第86期（決算日：2024年11月15日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てに預かり厚く御礼申し上げます。


さて、ご購入いただいております「しんきん海外ソブリン債セレクション」は2024年11月15日に第86期の決算を行いました。

ここに、第85期から第86期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

■運用報告書に関しては、下記にお問い合わせください。

しんきんアセットマネジメント投信株式会社
 <コールセンター> ☎ 0120-781812
 （土日、休日を除く）携帯電話からは03-5524-8181
 9：00～17：00

 しんきんアセットマネジメント投信株式会社

本資料は投資信託の運用状況を開示するためのものであり、ファンドの勧誘を目的とするものではありません。

〒104-0031 東京都中央区京橋3丁目8番1号

<https://www.skam.co.jp>

目 次

◇しんきん海外ソブリン債セレクション	頁
欧州ソブリン債ポートフォリオ	1
米国ソブリン債ポートフォリオ	11
欧米ソブリン債ポートフォリオ	21
分配金のお知らせ	32
◇参考情報	
親投資信託の組入資産の明細	33
◇親投資信託の運用報告書	
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド	38
しんきん米国ソブリン債マザーファンド	47

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンドとし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。

○最近10期の運用実績

決算期	基準価額				ベンチマーク		債組入比率	純資産額
	(分配落)	税分	込配	み金	期騰落	中率		
	円		円		%	ポイント	%	百万円
77期(2022年8月15日)	8,827		45		0.2	236.61	96.5	250
78期(2022年11月15日)	8,524		45		△2.9	232.90	97.0	244
79期(2023年2月15日)	8,227		45		△3.0	227.13	95.7	231
80期(2023年5月15日)	8,534		45		4.3	236.70	96.2	240
81期(2023年8月15日)	8,950		45		5.4	250.93	96.5	247
82期(2023年11月15日)	9,231		45		3.6	261.45	96.3	247
83期(2024年2月15日)	9,296		45		1.2	266.37	95.9	245
84期(2024年5月15日)	9,625		45		4.0	279.72	95.9	241
85期(2024年8月15日)	9,435		45		△1.5	275.69	96.9	213
86期(2024年11月15日)	9,552		45		1.7	277.62	96.7	210

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

※1 「FTSE EMU国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスで、EMU加盟国の国債で構成されています。

※2 「FTSE EMU国債インデックス」は「FTSE世界国債インデックス」のサブ・インデックスです。

※3 「FTSE世界国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

※4 上記指数は、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。同社は、当ファンドの運用成績などに関する一切の責任を負いません。

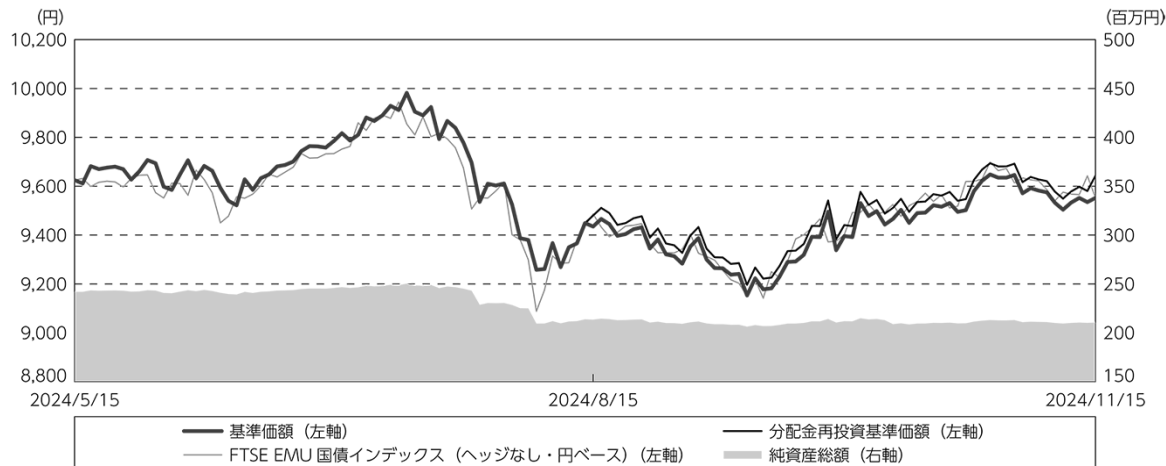
○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		ベンチ マ ー ク		債 券 組 入 比 率
			騰 落 率	FTSE EMU 国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)	騰 落 率	
第85期	(期 首) 2024年 5 月 15 日	円	%	ポイント	%	%
		9,625	—	279.72	—	95.9
	5 月 末	9,585	△0.4	279.36	△0.1	96.1
	6 月 末	9,785	1.7	282.87	1.1	96.4
	7 月 末	9,525	△1.0	273.21	△2.3	96.4
第86期	(期 末) 2024年 8 月 15 日					
		9,480	△1.5	275.69	△1.4	96.9
	(期 首) 2024年 8 月 15 日					
		9,435	—	275.69	—	96.9
	8 月 末	9,283	△1.6	271.51	△1.5	96.8
	9,338	△1.0	272.44	△1.2	96.7	
	10 月 末	9,646	2.2	279.40	1.3	97.0
	(期 末) 2024年 11 月 15 日					
		9,597	1.7	277.62	0.7	96.7

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

○ 当作成期中（第85期～第86期）の運用経過等（2024年5月16日～2024年11月15日）
 < 当作成期中の基準価額等の推移 >



- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金再投資基準価額およびFTSE EMU国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)は、作成期首(2024年5月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

< 基準価額の主な変動要因 >

当ポートフォリオは、FTSE EMU国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)をベンチマークとし、親投資信託である「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」を通じて、主として欧州経済通貨同盟(EMU)参加国の国債、政府機関債および国際機関債に投資しています。

当作成期における基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

基準価額の変動要因

前作成期間末基準価額		9,625円	
要因	外国債券	キャピタル	193円
		インカム	116円
	為替	△237円	
	小計	72円	
分配金		△90円	
その他変動要因(信託報酬含む)		△55円	
当作成期間末基準価額		9,552円	

※要因分析の数値は概算値です。実際の数値と異なる可能性があります。傾向を知るための参考としてご覧ください。
 ※キャピタルとは金利変動等による債券価格の上下動に伴う売買損益(評価損益含む)、インカムとは利息等による収益です。

<上昇要因>

- ・欧州中央銀行（ECB）が年内に複数回の利下げを行うという観測が市場で高まっていたことや、その後実際に利下げを開始したこと等を背景に、欧州国債金利が低下し、欧州債券価格が上昇したこと。

<下落要因>

- ・日本政府・日銀による米ドル売り為替介入や政策金利の引上げなどにより、日本円が各主要国通貨に対して上昇したこと。
- ・ドイツの堅調な経済指標を受け、ECBによる利下げペースが遅れるとの観測が市場で高まり、欧州国債金利が上昇し、欧州債券価格が下落したこと。

<投資環境>

(欧州債券市況)

当作成期初は、フランスの政局不安等の影響を受け、欧州国債金利が上下する場面もありましたが、2024年6月のECB政策理事会において政策金利の引下げが決定され、その後もECBが年内に複数回の追加利下げを実施するとの期待が市場で高まったことを背景に、欧州国債金利は低下基調で推移しました。実際に、9月と10月のECB政策理事会で連続して追加利下げが決定されましたが、既に市場で予想されていた範囲であったことから、いずれも市場の反応は限定的なものになりました。その後は、10月のドイツ消費者物価指数（CPI）速報値の前年同月比の伸びや、ドイツの第3四半期の実質国内総生産（GDP）速報値が市場予想を上回り、ドイツの景気後退の回避が示唆されたこと等を受けて、欧州国債金利は上昇しました。

(為替市況：ユーロ円市場)

当作成期初から2024年7月にかけては、日欧金利差を背景にユーロ高円安基調で推移していましたが、その後は上記要因等を受けて欧州国債金利が低下したことや、7月の日本政府・日銀による2度の米ドル売り為替介入で進行した米ドル安円高の影響を受けたこと、7月の日銀金融政策決定会合で日銀が政策金利の引上げを決定したこと等を背景に大きくユーロ安円高に推移しました。しかし、9月中旬以降は上記要因等を受けて欧州国債金利が上昇したことや、石破茂首相が日銀の金融政策について「追加の利上げをするような環境にあるとは考えていない」と発言したこと、衆議院選挙で与党の過半数割れという今後の日本の金融政策や財政政策の不確実性を高める結果になったこと等を受けて、ユーロ高円安基調で推移しました。

<当ファンドのポートフォリオ>

当ポートフォリオは、親投資信託である「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」の受益証券への投資を通じ、外貨建資産の組入比率が高位となるように調整しています。

●しんきん欧州ソブリン債マザーファンド

欧州のソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとして、ポートフォリオを構築しています。

国別配分については、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、ベルギー、オランダ、オーストリア、フィンランドおよびアイルランドの各国債でポートフォリオを構築しています。当作成期末の2024年11月15日時点におけるファンドの修正デュレーション（金利感応度）は7.15年、時価最終利回りは2.79%となっています。

<当ファンドのベンチマークとの差異>

当作成期の基準価額の騰落率（分配金再投資ベース）は+0.2%となり、一方で同期間のベンチマークの騰落率は△0.8%となりました。

この差には、ファンドとベンチマークにおける債券組入銘柄の違い、債券および為替の評価タイミングのずれや、追加設定・解約による要因等が含まれています。

<分配金>

収益分配金については、各期とも経費控除後の配当等収益や基準価額水準等を勘案して、第85期、第86期は、1万口当たり45円（税込み）としました。

なお、収益分配に充てなかった部分については、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第85期	第86期
	2024年5月16日～ 2024年8月15日	2024年8月16日～ 2024年11月15日
当期分配金	45	45
（対基準価額比率）	0.475%	0.469%
当期の収益	29	45
当期の収益以外	15	—
翌期繰越分配対象額	2,864	2,869

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<今後の運用方針>

引き続き、当ポートフォリオについては、今後も親投資信託である「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」の受益証券への投資を通じ、外貨建資産の組入比率が高位となるように調整していきます。

●しんきん欧州ソブリン債マザーファンド

欧州のソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとしてポートフォリオを構築していきます。投資国やウェイトについては、マクロ経済分析等のファンダメンタル分析、債券市場分析および格付動向などを勘案して決定します。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年 5 月 16 日～2024年 11 月 15 日)

項 目	第85期～第86期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 50	% 0.527	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(21)	(0.222)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(26)	(0.277)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.028)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.025	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.022)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の 送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	52	0.552	
作成期間の平均基準価額は、9,527円です。			

(注1) 作成期間の費用（消費税等の掛かるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

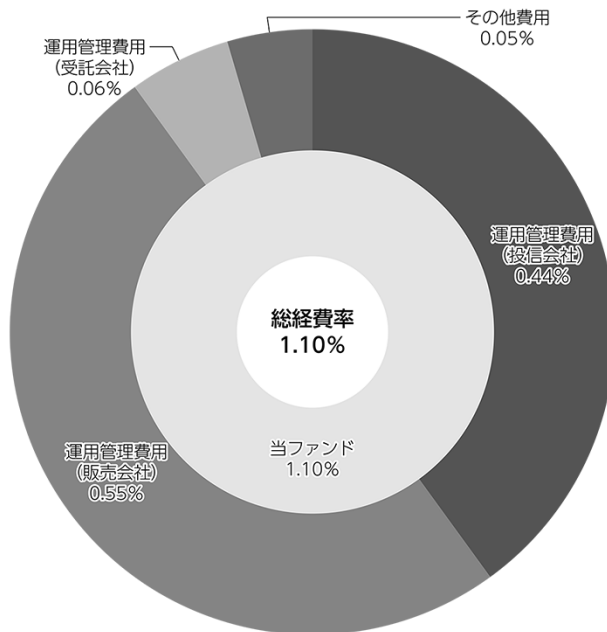
(注3) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

(参考情報)

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.10%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

欧州ソブリン債ポートフォリオ

○売買及び取引の状況

(2024年5月16日～2024年11月15日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第85期～第86期			
		設		約	
		口	金	口	金
		数	額	数	額
		千口	千円	千口	千円
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド		—	—	17,507	32,000

(注) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2024年5月16日～2024年11月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況

(2024年5月16日～2024年11月15日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2024年5月16日～2024年11月15日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2024年11月15日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第84期末		第86期末				
		口	数	口	数	評	価	額
			千口		千口			千円
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド			128,693		111,186			206,573

(注) 単位未満は切り捨て。親投資信託合計の受益権口数は、しんきん欧州ソブリン債マザーファンド7,314,961千口です。

○投資信託財産の構成

(2024年11月15日現在)

項 目	第86期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド	206,573	97.4
コール・ローン等、その他	5,481	2.6
投資信託財産総額	212,054	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) しんきん欧州ソブリン債マザーファンドにおいて、2024年11月15日現在における外貨建純資産(13,549,668千円)の投資信託財産総額(13,590,785千円)に対する比率は99.7%です。

(注3) 外貨建資産は、2024年11月15日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2024年11月15日現在、1ユーロ=165.12円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第85期末	第86期末
	2024年8月15日現在	2024年11月15日現在
	円	円
(A) 資産	215,124,835	212,054,579
コール・ローン等	5,681,052	5,481,458
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド(評価額)	209,443,754	206,573,097
未収利息	29	24
(B) 負債	1,656,179	1,549,656
未払収益分配金	1,018,118	991,707
未払解約金	5,854	—
未払信託報酬	628,931	555,060
その他未払費用	3,276	2,889
(C) 純資産総額(A-B)	213,468,656	210,504,923
元本	226,248,556	220,379,400
次期繰越損益金	△ 12,779,900	△ 9,874,477
(D) 受益権総口数	226,248,556口	220,379,400口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,435円	9,552円

(注1) 当ポートフォリオの第85期首元本額は251,323,450円、当作成期(第85期～第86期)中における追加設定元本額は2,693,755円、同一部解約元本額は33,637,805円です。

(注2) 1口当たりの純資産額は、第85期0.9435円、第86期0.9552円です。

○損益の状況

項 目	第85期	第86期
	2024年5月16日～ 2024年8月15日	2024年8月16日～ 2024年11月15日
	円	円
(A) 配当等収益	323	1,574
受取利息	323	1,574
(B) 有価証券売買損益	△ 2,678,402	4,116,284
売買益	411,641	4,129,535
売買損	△ 3,090,043	△ 13,251
(C) 信託報酬等	△ 632,207	△ 557,949
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 3,310,286	3,559,909
(E) 前期繰越損益金	△10,437,529	△14,327,455
(F) 追加信託差損益金	1,986,033	1,884,776
(配当等相当額)	(48,929,356)	(47,714,605)
(売買損益相当額)	(△46,943,323)	(△45,829,829)
(G) 計(D+E+F)	△11,761,782	△ 8,882,770
(H) 収益分配金	△ 1,018,118	△ 991,707
次期繰越損益金(G+H)	△12,779,900	△ 9,874,477
追加信託差損益金	1,986,033	1,884,776
(配当等相当額)	(48,930,566)	(47,715,013)
(売買損益相当額)	(△46,944,533)	(△45,830,237)
分配準備積立金	15,867,958	15,516,848
繰越損益金	△30,633,891	△27,276,101

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<分配金の計算過程>

第85期計算期間末における費用控除後の配当等収益(668,829円)、費用控除後の有価証券売買等損益額(0.0円)、信託約款に規定する収益調整金(48,930,566円)および分配準備積立金(16,217,247円)より分配対象収益は65,816,642円(10,000口当たり2,909円)であり、うち1,018,118円(10,000口当たり45円)を分配金額としています。

第86期計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,099,890円)、費用控除後の有価証券売買等損益額(0.0円)、信託約款に規定する収益調整金(47,715,013円)および分配準備積立金(15,408,665円)より分配対象収益は64,223,568円(10,000口当たり2,914円)であり、うち991,707円(10,000口当たり45円)を分配金額としています。

○最近10期の運用実績

決算期	基準価額				ベンチマーク		債組入比率	純資産額	
	(分配落)	税分	込配	み金	期騰落	中率			期騰落
	円			円		%	円	%	百万円
77期(2022年8月15日)	10,448			45		2.5	450.53	3.1	323
78期(2022年11月15日)	10,379			45		△0.2	449.11	△0.3	316
79期(2023年2月15日)	9,952			45		△3.7	438.27	△2.4	306
80期(2023年5月15日)	10,368			45		4.6	455.48	3.9	321
81期(2023年8月15日)	10,663			45		3.3	469.96	3.2	323
82期(2023年11月15日)	10,919			45		2.8	485.77	3.4	334
83期(2024年2月15日)	11,091			45		2.0	497.32	2.4	314
84期(2024年5月15日)	11,475			45		3.9	517.21	4.0	324
85期(2024年8月15日)	11,238			45		△1.7	514.60	△0.5	311
86期(2024年11月15日)	11,622			45		3.8	526.17	2.2	314

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

※1 「FTSE米国国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスで、米国の国債で構成されています。

※2 「FTSE米国国債インデックス」は「FTSE世界国債インデックス」のサブ・インデックスです。

※3 「FTSE世界国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

※4 上記指数は、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。同社は、当ファンドの運用成績などに関する一切の責任を負いません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

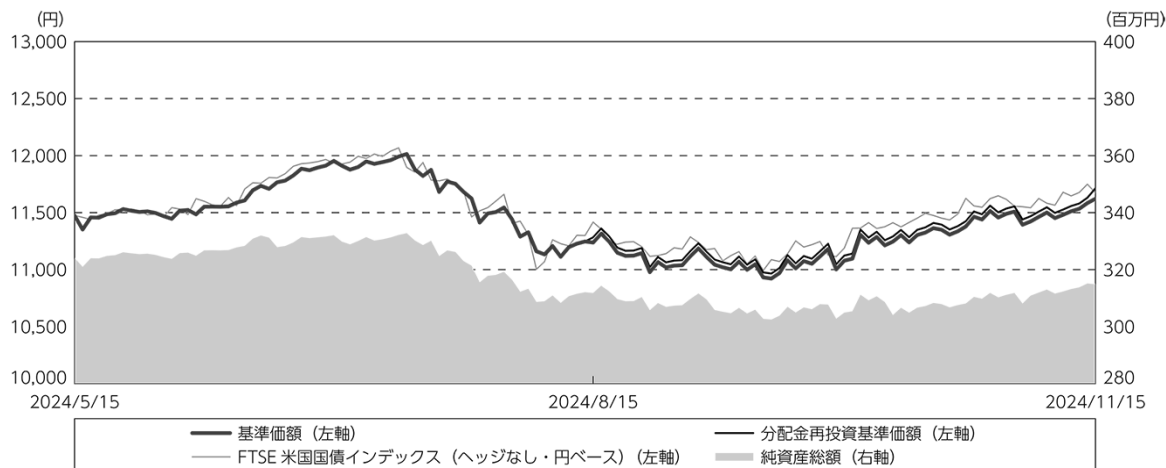
決算期	年 月 日	基準 価 額		ベンチ マ ー ク		債 券 組 入 比 率
			騰 落 率	F T S E 米 国 国 債 イ ン デ ッ ク ス (ヘッジなし・円ベース)	騰 落 率	
第85期	(期 首) 2024年 5 月 15 日	円	%	ポイント	%	%
		11,475	—	517.21	—	96.9
	5 月 末	11,446	△0.3	520.31	0.6	97.2
	6 月 末	11,954	4.2	537.96	4.0	97.6
	7 月 末	11,441	△0.3	514.12	△0.6	97.5
第86期	(期 末) 2024年 8 月 15 日		△1.7	514.60	△0.5	97.6
	(期 首) 2024年 8 月 15 日	11,238	—	514.60	—	97.6
	8 月 末	11,039	△1.8	503.94	△2.1	97.2
	9 月 末	11,002	△2.1	500.96	△2.6	97.5
	10 月 末	11,509	2.4	520.89	1.2	97.7
	(期 末) 2024年 11 月 15 日	11,667	3.8	526.17	2.2	97.6

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

米国ソブリン債ポートフォリオ

○当作成期中（第85期～第86期）の運用経過等（2024年5月16日～2024年11月15日） <当作成期中の基準価額等の推移>



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金再投資基準価額およびFTSE米国国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)は、作成期首(2024年5月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

<基準価額の主な変動要因>

当ポートフォリオは、FTSE米国国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)をベンチマークとし、親投資信託である「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」を通じて、主として米国の国債、政府機関債および国際機関債に投資しています。

当作成期における基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

基準価額の変動要因

	前作成期間末基準価額	11,475円	
要因	外国債券	キャピタル	135円
		インカム	152円
	為替		18円
	小計		305円
分配金		△90円	
その他変動要因(信託報酬含む)		△68円	
	当作成期間末基準価額	11,622円	

※要因分析の数値は概算値です。実際の数値と異なる可能性があります。傾向を知るための参考としてご覧ください。

※キャピタルとは金利変動等による債券価格の上下動に伴う売買損益(評価損益含む)、インカムとは利息等による収益です。

米国ソブリン債ポートフォリオ

<上昇要因>

- ・2024年9月頃まで、米国の各経済指標がインフレの鎮静化傾向を示したことで、米連邦準備制度理事会（FRB）による年内大幅利下げへの観測が高まり、米国債金利が低下し、米国債券価格が上昇したこと。
- ・10月以降、9月の米雇用統計の堅調な結果や、トランプ氏の次期大統領当選等を受け、FRBによる利下げペースが遅れるとの観測が市場で高まったこと等を背景に、米国債金利が上昇し、米ドルが上昇したこと。

<下落要因>

- ・2024年7月から9月にかけて、日本政府・日銀による米ドル売り為替介入や政策金利の引上げなどにより、米ドルが日本円に対して大きく下落したこと。
- ・10月以降、上記要因等を背景に、米国債金利が上昇し、米国債券価格が下落したこと。

<投資環境>

(米国国債市況)

当作成期初は、米国の各経済指標がインフレの鎮静化傾向を示したことで、年内にFRBによる政策金利の大幅な引下げが行われるとの観測が市場で高まり、米国債金利は低下基調で推移しました。2024年7月の米連邦公開市場委員会（FOMC）で、パウエルFRB議長が9月の利下げを示唆したことで、米国債金利はさらに低下しました。9月のFOMCでは、FRBにより0.5%の利下げが決定されましたが、既に市場で予想されていた範囲であったことから、米国債金利は下げ止まりました。その後は、9月の米雇用統計で非農業部門雇用者数の伸びが市場予想を上回り、米国経済の強さが示唆されたことや、米大統領選挙で関税引上げや不法移民制限などインフレの再加速が懸念される経済政策を掲げるトランプ氏が次期大統領に当選したこと等を背景に、米国債金利は上昇に転じました。

(為替市況：ドル円市場)

当作成期初から2024年7月にかけては、日米金利差を背景に米ドル高円安基調で推移していましたが、その後は上記要因等を受けて米国債金利が低下したことや、7月の日本政府・日銀による2度の為替介入があったこと、7月の日銀金融政策決定会合で日銀が政策金利の引上げを決定したこと等を背景に、大きく米ドル安円高に推移しました。しかし、9月中旬以降は上記要因等を受けて米国債金利が上昇したことや、石破茂首相が日銀の金融政策について「追加の利上げをするような環境にあるとは考えていない」と発言したこと、衆議院選挙で与党の過半数割れという今後の日本の金融政策や財政政策の不確実性を高める結果になったこと等を受けて、米ドル高円安基調で推移しました。

<当ファンドのポートフォリオ>

当ポートフォリオは、親投資信託である「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券への投資を通じ、外貨建資産の組入比率が高位となるように調整しています。

●しんきん米国ソブリン債マザーファンド

米国のソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとして、ポートフォリオを構築しています。ベンチマークに対する修正デュレーション（金利感応度）は、中立を基本としています。

当作成期末の2024年11月15日時点におけるファンドの修正デュレーションは5.84年、時価最終利回りは4.47%となっています。また、ファンドの利回り向上を図るため、米国国債のほか、国際復興開発銀行（世界銀行：IBRD）、米州開発銀行（IADB）、アジア開発銀行（ADB）発行の債券を組み入れています。

<当ファンドのベンチマークとの差異>

当作成期の基準価額の騰落率（分配金再投資ベース）は+2.1%となり、一方で同期間のベンチマークの騰落率は+1.7%となりました。

この差には、ファンドとベンチマークにおける債券組入銘柄の違い、債券および為替の評価タイミングのずれや、追加設定・解約による要因等が含まれています。

<分配金>

収益分配金については、各期とも経費控除後の配当等収益や基準価額水準等を勘案して、第85期、第86期は、1万口当たり45円（税込み）としました。

なお、収益分配に充てなかった部分については、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第85期	第86期
	2024年5月16日～ 2024年8月15日	2024年8月16日～ 2024年11月15日
当期分配金	45	45
（対基準価額比率）	0.399%	0.386%
当期の収益	45	45
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	4,297	4,444

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<今後の運用方針>

引き続き、当ポートフォリオについては、今後も親投資信託である「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券への投資を通じ、外貨建資産の組入比率が高位となるように調整していきます。

●しんきん米国ソブリン債マザーファンド

米国国債に加えて、国際機関債でポートフォリオを構成し、これらの組入比率を高位に保ち、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとしてポートフォリオを構築していきます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年 5 月 16 日～2024年11月15日)

項 目	第85期～第86期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 60	% 0.527	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(25)	(0.222)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(32)	(0.277)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(3)	(0.028)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.014	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	62	0.541	
作成期間の平均基準価額は、11,398円です。			

(注1) 作成期間の費用（消費税等の掛かるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

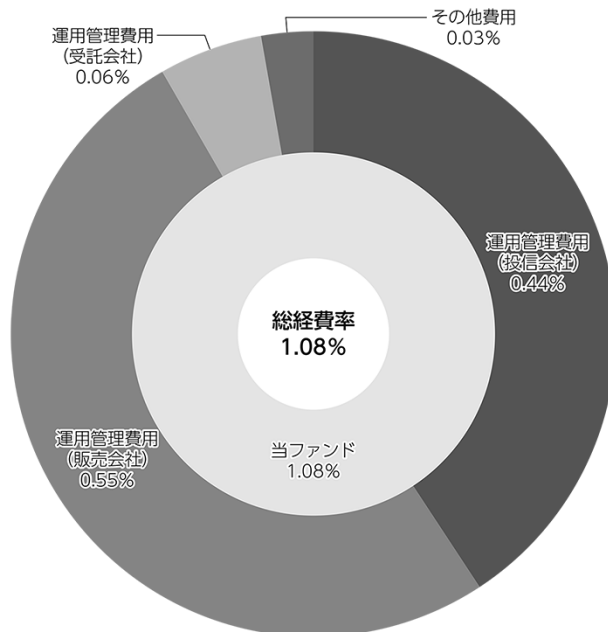
(注3) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

(参考情報)

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.08%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

米国ソブリン債ポートフォリオ

○売買及び取引の状況

(2024年5月16日～2024年11月15日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第85期～第86期			
		設		約	
		口	金	口	金
		数	額	数	額
		千口	千円	千口	千円
しんきん米国ソブリン債マザーファンド		—	—	6,893	15,500

(注) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2024年5月16日～2024年11月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況

(2024年5月16日～2024年11月15日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2024年5月16日～2024年11月15日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2024年11月15日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第84期末		第86期末				
		口	数	口	数	評	価	額
			千口		千口			千円
しんきん米国ソブリン債マザーファンド			141,657		134,763			311,978

(注) 単位未満は切り捨て。親投資信託合計の受益権口数は、しんきん米国ソブリン債マザーファンド6,041,417千口です。

○投資信託財産の構成

(2024年11月15日現在)

項 目	第86期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
しんきん米国ソブリン債マザーファンド	311,978	98.0
コール・ローン等、その他	6,251	2.0
投資信託財産総額	318,229	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) しんきん米国ソブリン債マザーファンドにおいて、2024年11月15日現在における外貨建純資産(13,945,941千円)の投資信託財産総額(13,985,972千円)に対する比率は99.7%です。

(注3) 外貨建資産は、2024年11月15日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2024年11月15日現在、1ドル=156.84円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第85期末	第86期末
	2024年8月15日現在	2024年11月15日現在
	円	円
(A) 資産	313,915,530	318,229,971
コール・ローン等	5,851,489	6,251,345
しんきん米国ソブリン債マザーファンド(評価額)	308,064,011	311,978,599
未収利息	30	27
(B) 負債	2,107,665	3,351,078
未払収益分配金	1,248,554	1,219,176
未払解約金	—	1,315,995
未払信託報酬	854,647	811,665
その他未払費用	4,464	4,242
(C) 純資産総額(A-B)	311,807,865	314,878,893
元本	277,456,596	270,928,172
次期繰越損益金	34,351,269	43,950,721
(D) 受益権総口数	277,456,596口	270,928,172口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,238円	11,622円

(注1) 当ポートフォリオの第85期首元本額は282,413,182円、当作成期(第85期～第86期)中における追加設定元本額は7,678,374円、同一部解約元本額は19,163,384円です。

(注2) 1口当たりの純資産額は、第85期1.1238円、第86期1.1622円です。

○損益の状況

項 目	第85期	第86期
	2024年5月16日～ 2024年8月15日	2024年8月16日～ 2024年11月15日
	円	円
(A) 配当等収益	278	1,751
受取利息	278	1,751
(B) 有価証券売買損益	△ 4,546,329	12,408,722
売買益	106,152	12,480,721
売買損	△ 4,652,481	△ 71,999
(C) 信託報酬等	△ 859,111	△ 815,907
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 5,405,162	11,594,566
(E) 前期繰越損益金	64,714,234	55,858,348
(F) 追加信託差損益金	△23,709,249	△22,283,017
(配当等相当額)	(54,499,846)	(54,166,091)
(売買損益相当額)	(△78,209,095)	(△76,449,108)
(G) 計(D+E+F)	35,599,823	45,169,897
(H) 収益分配金	△ 1,248,554	△ 1,219,176
次期繰越損益金(G+H)	34,351,269	43,950,721
追加信託差損益金	△23,709,249	△22,283,017
(配当等相当額)	(54,503,361)	(54,169,986)
(売買損益相当額)	(△78,212,610)	(△76,453,003)
分配準備積立金	64,746,646	66,233,738
繰越損益金	△ 6,686,128	-

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<分配金の計算過程>

第85期計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,280,966円)、費用控除後の有価証券売買等損益額(0.0円)、信託約款に規定する収益調整金(54,503,361円)および分配準備積立金(64,714,234円)より分配対象収益は120,498,561円(10,000口当たり4,342円)であり、うち1,248,554円(10,000口当たり45円)を分配金額としています。

第86期計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,882,664円)、費用控除後の有価証券売買等損益額(3,280,686円)、信託約款に規定する収益調整金(54,169,986円)および分配準備積立金(62,289,564円)より分配対象収益は121,622,900円(10,000口当たり4,489円)であり、うち1,219,176円(10,000口当たり45円)を分配金額としています。

○最近10期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			ベンチマーク		債組入比率	純資産額
		税分	込配	み期騰落	騰落	騰落		
	円		円		%	ポイント	%	百万円
77期(2022年8月15日)	9,495		45		1.4	18,871.56	2.0	521
78期(2022年11月15日)	9,307		45		△1.5	18,705.23	△0.9	506
79期(2023年2月15日)	8,948		45		△3.4	18,255.35	△2.4	474
80期(2023年5月15日)	9,308		45		4.5	19,003.26	4.1	492
81期(2023年8月15日)	9,670		45		4.4	19,878.13	4.6	513
82期(2023年11月15日)	9,942		45		3.3	20,633.46	3.8	525
83期(2024年2月15日)	10,055		45		1.6	21,076.47	2.1	529
84期(2024年5月15日)	10,411		45		4.0	22,027.91	4.5	542
85期(2024年8月15日)	10,201		45		△1.6	21,816.32	△1.0	526
86期(2024年11月15日)	10,439		45		2.8	22,139.13	1.5	536

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

●ベンチマークに関して

※ベンチマークはFTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）を50%、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）を50%の配分比率で算出した合成指数（設定日2003年7月1日を10,000として指数化）です。

FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）

※1 「FTSE EMU国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスで、EMU加盟国の国債で構成されています。

※2 「FTSE EMU国債インデックス」は「FTSE世界国債インデックス」のサブ・インデックスです。

※3 「FTSE世界国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

※4 上記指数は、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。同社は、当ファンドの運用成績などに関する一切の責任を負いません。

FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）

※1 「FTSE米国国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスで、米国の国債で構成されています。

※2 「FTSE米国国債インデックス」は「FTSE世界国債インデックス」のサブ・インデックスです。

※3 「FTSE世界国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

※4 上記指数は、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。同社は、当ファンドの運用成績などに関する一切の責任を負いません。

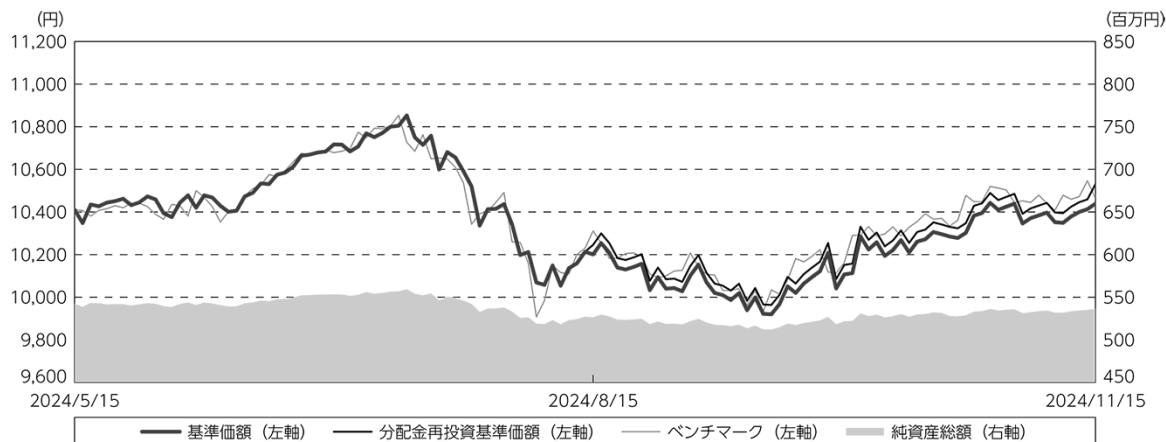
○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		ベンチ マ ー ク		債 券 組 入 比 率
			騰 落 率		騰 落 率	
第85期	(期 首) 2024年 5月15日	円 10,411	% -	ポイント 22,027.91	% -	% 97.4
	5月末	10,376	△0.3	22,079.79	0.2	97.7
	6月末	10,717	2.9	22,593.78	2.6	97.9
	7月末	10,342	△0.7	21,707.63	△1.5	97.5
	(期 末) 2024年 8月15日	10,246	△1.6	21,816.32	△1.0	98.0
第86期	(期 首) 2024年 8月15日	10,201	-	21,816.32	-	98.0
	8月末	10,028	△1.7	21,425.18	△1.8	97.6
	9月末	10,041	△1.6	21,399.08	△1.9	97.5
	10月末	10,439	2.3	22,097.90	1.3	97.9
	(期 末) 2024年11月15日	10,484	2.8	22,139.13	1.5	97.6

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

○ 当作成期中（第85期～第86期）の運用経過等（2024年5月16日～2024年11月15日）
 < 当作成期中の基準価額等の推移 >



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注2) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、作成期首(2024年5月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

< 基準価額の主な変動要因 >

当ポートフォリオは、親投資信託である「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」と「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券へ約50%ずつ投資を行い、ユーロと米ドル建債券の組入比率が高位となるよう運用を行っています。

当作成期における基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

基準価額の変動要因

前作成期間末基準価額		10,411円	
要因	外国債券	キャピタル	168円
		インカム	133円
	為替	ドル	8円
		ユーロ	△131円
小計		178円	
分配金		△90円	
その他変動要因(信託報酬含む)		△60円	
当作成期間末基準価額		10,439円	

※要因分析の数値は概算値です。実際の数値と異なる可能性があります。傾向を知るための参考としてご覧ください。
 ※キャピタルとは金利変動等による債券価格の上下動に伴う売買損益(評価損益含む)、インカムとは利息等による収益です。

●しんきん欧州ソブリン債マザーファンド

<上昇要因>

- ・欧州中央銀行（ECB）が年内に複数回の利下げを行うという観測が市場で高まっていたことや、その後実際に利下げを開始したこと等を背景に、欧州国債金利が低下し、欧州債券価格が上昇したこと。

<下落要因>

- ・日本政府・日銀による米ドル売り為替介入や政策金利の引上げなどにより、日本円が各主要国通貨に対して上昇したこと。
- ・ドイツの堅調な経済指標を受け、ECBによる利下げペースが遅れるとの観測が市場で高まり、欧州国債金利が上昇し、欧州債券価格が下落したこと。

●しんきん米国ソブリン債マザーファンド

<上昇要因>

- ・2024年9月頃まで、米国の各経済指標がインフレの鎮静化傾向を示したことで、米連邦準備制度理事会（FRB）による年内大幅利下げへの観測が高まり、米国債金利が低下し、米国債券価格が上昇したこと。
- ・10月以降、9月の米雇用統計の堅調な結果や、トランプ氏の次期大統領当選等を受け、FRBによる利下げペースが遅れるとの観測が市場で高まったこと等を背景に、米国債金利が上昇し、米ドルが上昇したこと。

<下落要因>

- ・2024年7月から9月にかけて、日本政府・日銀による米ドル売り為替介入や政策金利の引上げなどにより、米ドルが日本円に対して大きく下落したこと。
- ・10月以降、上記要因等を背景に、米国債金利が上昇し、米国債券価格が下落したこと。

<投資環境>

(欧州債券市況)

当作成期初は、フランスの政局不安等の影響を受け、欧州国債金利が上下する場面もありましたが、2024年6月のECB政策理事会において政策金利の引下げが決定され、その後もECBが年内に複数回の追加利下げを実施するとの期待が市場で高まったことを背景に、欧州国債金利は低下基調で推移しました。実際に、9月と10月のECB政策理事会で連続して追加利下げが決定されましたが、既に市場で予想されていた範囲であったことから、いずれも市場の反応は限定的なものになりました。その後は、10月のドイツ消費者物価指数（CPI）速報値の前年同月比の伸びや、ドイツの第3四半期の実質国内総生産（GDP）速報値が市場予想を上回り、ドイツの景気後退の回避が示唆されたこと等を受けて、欧州国債金利は上昇しました。

(米国国債市況)

当作成期初は、米国の各経済指標がインフレの鎮静化傾向を示したことで、年内にFRBによる政策金利の大幅な引下げが行われるとの観測が市場で高まり、米国債金利は低下基調で推移しました。2024年7月の米連邦公開市場委員会（FOMC）で、パウエルFRB議長が9月の利下げを示唆したことで、米国債金利はさらに低下しました。9月のFOMCでは、FRBにより0.5%の利下げが決定されましたが、既に市場で予想されていた範囲であったことから、米国債金利は下げ止まりました。その後は、9月の米雇用統計で非農業部門雇用者数の伸びが市場予想を上回り、米国経済の強さが示唆されたことや、米大統領選挙で関税上げや不法移民制限などインフレの再加速が懸念される経済政策を掲げるトランプ氏が次期大統領に当選したこと等を背景に、米国債金利は上昇に転じました。

(為替市況：ユーロ円市場)

当作成期初から2024年7月にかけては、日欧金利差を背景にユーロ高円安基調で推移していましたが、その後は上記要因等を受けて欧州国債金利が低下したことや、7月の日本政府・日銀による2度の米ドル売り為替介入で進行した米ドル安円高の影響を受けたこと、7月の日銀金融政策決定会合で日銀が政策金利の引上げを決定したこと等を背景に大きくユーロ安円高に推移しました。しかし、9月中旬以降は上記要因等を受けて欧州国債金利が上昇したことや、石破茂首相が日銀の金融政策について「追加の利上げをするような環境にあるとは考えていない」と発言したこと、衆議院選挙で与党の過半数割れという今後の日本の金融政策や財政政策の不確実性を高める結果になったこと等を受けて、ユーロ高円安基調で推移しました。

(為替市況：ドル円市場)

当作成期初から2024年7月にかけては、日米金利差を背景に米ドル高円安基調で推移していましたが、その後は上記要因等を受けて米国債金利が低下したことや、7月の日本政府・日銀による2度の為替介入があったこと、7月の日銀金融政策決定会合で日銀が政策金利の引上げを決定したこと等を背景に、大きく米ドル安円高に推移しました。しかし、9月中旬以降は上記要因等を受けて米国債金利が上昇したことや、石破茂首相が日銀の金融政策について「追加の利上げをするような環境にあるとは考えていない」と発言したこと、衆議院選挙で与党の過半数割れという今後の日本の金融政策や財政政策の不確実性を高める結果になったこと等を受けて、米ドル高円安基調で推移しました。

<当ファンドのポートフォリオ>

当ポートフォリオは、親投資信託である「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」と「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券へ約50%ずつ投資を行い、ユーロと米ドル建債券の組入比率が高位となるように調整しています。

●しんきん欧州ソブリン債マザーファンド

欧州のソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとして、ポートフォリオを構築しています。

国別配分については、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、ベルギー、オランダ、オーストリア、フィンランドおよびアイルランドの各国債でポートフォリオを構築しています。当作成期末の2024年11月15日時点におけるファンドの修正デュレーション（金利感応度）は7.15年、時価最終利回りは2.79%となっています。

●しんきん米国ソブリン債マザーファンド

米国のソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE米回国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとして、ポートフォリオを構築しています。ベンチマークに対する修正デュレーション（金利感応度）は、中立を基本としています。

当作成期末の2024年11月15日時点におけるファンドの修正デュレーションは5.84年、時価最終利回りは4.47%となっています。また、ファンドの利回り向上を図るため、米国国債のほか、国際復興開発銀行（世界銀行：IBRD）、米州開発銀行（IADB）、アジア開発銀行（ADB）発行の債券を組み入れています。

<当ファンドのベンチマークとの差異>

当作成期の基準価額の騰落率（分配金再投資ベース）は+1.1%となり、一方で同期間のベンチマークの騰落率は+0.5%となりました。

この差には、ファンドとベンチマークにおける債券組入銘柄の違い、債券および為替の評価タイミングのずれや、追加設定・解約による要因等が含まれています。

<分配金>

収益分配金については、各期とも経費控除後の配当等収益や基準価額水準等を勘案して、第85期、第86期は、1万口当たり45円（税込み）としました。

なお、収益分配に充てなかった部分については、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第85期	第86期
	2024年5月16日～ 2024年8月15日	2024年8月16日～ 2024年11月15日
当期分配金	45	45
（対基準価額比率）	0.439%	0.429%
当期の収益	38	45
当期の収益以外	6	—
翌期繰越分配対象額	1,680	1,695

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<今後の運用方針>

引き続き、運用の基本方針に従い、親投資信託である「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」と「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券へ約50%ずつ投資を行い、ユーロと米ドル建債券の組入比率が高位となるように調整し運用を行っていきます。

●しんきん欧州ソブリン債マザーファンド

欧州のソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとしてポートフォリオを構築していきます。投資国やウェイトについては、マクロ経済分析等のファンダメンタル分析、債券市場分析および格付動向などを勘案して決定します。

●しんきん米国ソブリン債マザーファンド

米国国債に加えて、国際機関債でポートフォリオを構成し、これらの組入比率を高位に保ち、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとしてポートフォリオを構築していきます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年 5 月 16 日～2024年11月15日)

項 目	第85期～第86期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 54	% 0.527	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(23)	(0.222)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(29)	(0.277)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(3)	(0.028)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.020	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(2)	(0.017)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	56	0.547	
作成期間の平均基準価額は、10,323円です。			

(注1) 作成期間の費用（消費税等の掛かるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

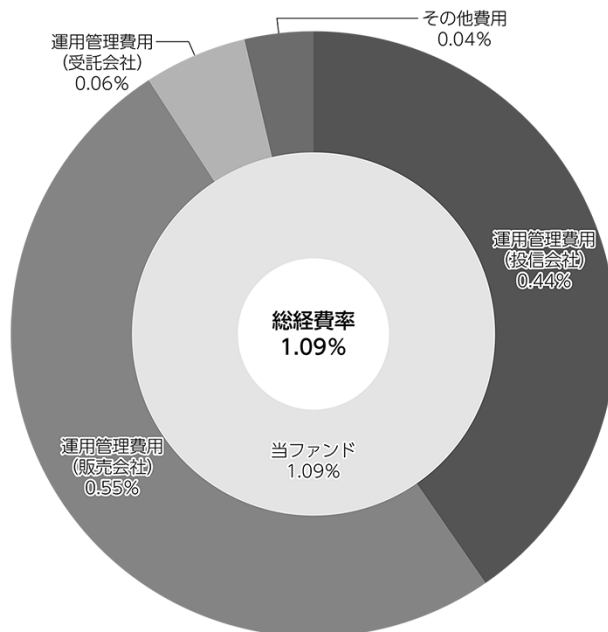
(注3) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

(参考情報)

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.09%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

欧米ソブリン債ポートフォリオ

○売買及び取引の状況

(2024年5月16日～2024年11月15日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第85期～第86期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド	—	—	3,809	7,000
しんきん米国ソブリン債マザーファンド	—	—	4,166	9,500

(注) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2024年5月16日～2024年11月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況

(2024年5月16日～2024年11月15日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2024年5月16日～2024年11月15日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2024年11月15日現在)

親投資信託残高

銘柄	第84期末	第86期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド	147,035	143,226	266,099
しんきん米国ソブリン債マザーファンド	118,882	114,716	265,568

(注) 単位未満は切り捨て。親投資信託合計の受益権口数はしんきん欧州ソブリン債マザーファンド7,314,961千口、しんきん米国ソブリン債マザーファンド6,041,417千口です。

○投資信託財産の構成

(2024年11月15日現在)

項 目	第86期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド	266,099	49.3
しんきん米国ソブリン債マザーファンド	265,568	49.2
コール・ローン等、その他	8,581	1.5
投資信託財産総額	540,248	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) しんきん欧州ソブリン債マザーファンドにおいて、2024年11月15日現在における外貨建純資産(13,549,668千円)の投資信託財産総額(13,590,785千円)に対する比率は99.7%です。

(注3) しんきん米国ソブリン債マザーファンドにおいて、2024年11月15日現在における外貨建純資産(13,945,941千円)の投資信託財産総額(13,985,972千円)に対する比率は99.7%です。

(注4) 外貨建資産は、2024年11月15日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2024年11月15日現在、1ドル=156.84円、1ユーロ=165.12円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第85期末	第86期末
	2024年8月15日現在	2024年11月15日現在
	円	円
(A) 資産	530,285,886	540,248,431
コール・ローン等	8,070,721	8,580,707
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド(評価額)	260,828,968	266,099,687
しんきん米国ソブリン債マザーファンド(評価額)	261,386,155	265,568,000
未收利息	42	37
(B) 負債	3,759,404	3,703,822
未払収益分配金	2,322,642	2,312,828
未払信託報酬	1,429,271	1,383,741
その他未払費用	7,491	7,253
(C) 純資産総額(A-B)	526,526,482	536,544,609
元本	516,142,702	513,961,904
次期繰越損益金	10,383,780	22,582,705
(D) 受益権総口数	516,142,702口	513,961,904口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,201円	10,439円

(注1) 当ポートフォリオの第85期首元本額は521,178,644円、当作成期(第85期~第86期)中における追加設定元本額は3,973,481円、同一部解約元本額は11,190,221円です。

(注2) 1口当たりの純資産額は、第85期1.0201円、第86期1.0439円です。

○損益の状況

項 目	第85期	第86期
	2024年5月16日～ 2024年8月15日	2024年8月16日～ 2024年11月15日
	円	円
(A) 配当等収益	333	2,114
受取利息	333	2,114
(B) 有価証券売買損益	△ 7,080,062	15,933,566
売買益	125,760	15,961,770
売買損	△ 7,205,822	△ 28,204
(C) 信託報酬等	△ 1,436,762	△ 1,390,994
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 8,516,491	14,544,686
(E) 前期繰越損益金	33,360,035	22,366,574
(F) 追加信託差損益金	△12,137,122	△12,015,727
(配当等相当額)	(40,065,126)	(40,027,100)
(売買損益相当額)	(△52,202,248)	(△52,042,827)
(G) 計 (D + E + F)	12,706,422	24,895,533
(H) 収益分配金	△ 2,322,642	△ 2,312,828
次期繰越損益金 (G + H)	10,383,780	22,582,705
追加信託差損益金	△12,137,122	△12,015,727
(配当等相当額)	(40,066,988)	(40,028,048)
(売買損益相当額)	(△52,204,110)	(△52,043,775)
分配準備積立金	46,669,998	47,099,117
繰越損益金	△24,149,096	△12,500,685

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<分配金の計算過程>

第85期計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,995,340円)、費用控除後の有価証券売買等損益額(0.0円)、信託約款に規定する収益調整金(40,066,988円)および分配準備積立金(46,997,300円)より分配対象収益は89,059,628円(10,000口当たり1,725円)であり、うち2,322,642円(10,000口当たり45円)を分配金額としています。

第86期計算期間末における費用控除後の配当等収益(3,065,271円)、費用控除後の有価証券売買等損益額(0.0円)、信託約款に規定する収益調整金(40,028,048円)および分配準備積立金(46,346,674円)より分配対象収益は89,439,993円(10,000口当たり1,740円)であり、うち2,312,828円(10,000口当たり45円)を分配金額としています。

○分配金のお知らせ

1万円当たり分配金（税込み）

	第85期	第86期
欧州ソブリン債ポートフォリオ	45円	45円
米国ソブリン債ポートフォリオ	45円	45円
欧米ソブリン債ポートフォリオ	45円	45円

◇分配金を再投資される場合のお手取分配金は、自動けいぞく投資約款の規定に基づき、各決算日の翌営業日に再投資いたしました。

◇分配金をお受け取りになる場合の分配金は、各決算日から起算して5営業日目までにお支払いを開始しています。

◇分配金のお取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

- (注1) 分配金は、分配後の基準価額と各受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」（受益者毎の元本の一部払戻しに相当する部分）があります。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額が「普通分配金」となります。分配後の基準価額を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が「元本払戻金（特別分配金）」、残りの部分が「普通分配金」となります。
- (注2) 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に各受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の各受益者の個別元本となります。

<しんきん欧州ソブリン債マザーファンド>

下記は、しんきん欧州ソブリン債マザーファンド全体(7,314,961千口)の内容です。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第86期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千円	%	%	%	%	%
ドイツ	16,200	16,561	2,734,611	20.1	—	14.2	3.9	2.1
イタリア	19,350	19,524	3,223,842	23.7	—	14.9	7.7	1.1
フランス	19,900	19,601	3,236,633	23.8	—	18.4	5.4	—
オランダ	4,050	3,558	587,639	4.3	—	3.6	0.7	—
スペイン	12,150	12,544	2,071,419	15.2	—	10.0	3.5	1.8
ベルギー	4,500	4,201	693,744	5.1	—	3.5	1.4	0.2
オーストリア	3,450	3,092	510,643	3.8	—	2.5	0.9	0.4
フィンランド	1,000	1,015	167,745	1.2	—	1.2	—	—
アイルランド	1,000	993	164,116	1.2	—	1.2	—	—
合 計	81,600	81,094	13,390,397	98.5	—	69.5	23.5	5.5

(注1) 邦貨換算金額は、2024年11月15日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、このファンドが組み入れている親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切り捨て。

(注4) 一印は組み入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

参考情報

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			第86期末				償還年月日
			利率	額面金額	評価額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
ドイツ	国債証券	DBR 0.000 08/15/31	—	2,300	1,991	328,793	2031/8/15
		DBR 0.250 02/15/29	0.25	2,200	2,042	337,277	2029/2/15
		DBR 0.500 02/15/26	0.5	1,650	1,616	266,952	2026/2/15
		DBR 1.000 08/15/25	1.0	100	98	16,344	2025/8/15
		DBR 1.700 08/15/32	1.7	2,900	2,792	461,151	2032/8/15
		DBR 3.250 07/04/42	3.25	2,150	2,353	388,664	2042/7/4
		DBR 4.000 01/04/37	4.0	2,600	3,010	497,045	2037/1/4
		DBR 4.750 07/04/28	4.75	1,050	1,147	189,454	2028/7/4
		DBR 4.750 07/04/34	4.75	1,250	1,507	248,927	2034/7/4
イタリア	国債証券	BTPS 0.950 08/01/30	0.95	2,200	1,964	324,358	2030/8/1
		BTPS 2.000 12/01/25	2.0	900	895	147,876	2025/12/1
		BTPS 2.500 12/01/32	2.5	1,450	1,372	226,667	2032/12/1
		BTPS 2.800 12/01/28	2.8	2,800	2,812	464,347	2028/12/1
		BTPS 2.950 02/15/27	2.95	1,500	1,512	249,822	2027/2/15
		BTPS 3.350 07/01/29	3.35	2,000	2,041	337,112	2029/7/1
		BTPS 3.450 07/15/31	3.45	2,200	2,237	369,472	2031/7/15
		BTPS 3.850 07/01/34	3.85	2,900	2,988	493,452	2034/7/1
		BTPS 4.050 10/30/37	4.05	1,200	1,245	205,732	2037/10/30
		BTPS 4.500 10/01/53	4.5	600	639	105,674	2053/10/1
		BTPS 5.000 08/01/39	5.0	1,600	1,812	299,325	2039/8/1
フランス	国債証券	FRTR 0.000 11/25/31	—	2,500	2,056	339,549	2031/11/25
		FRTR 1.000 05/25/27	1.0	1,800	1,740	287,322	2027/5/25
		FRTR 1.250 05/25/34	1.25	1,300	1,109	183,165	2034/5/25
		FRTR 1.250 05/25/36	1.25	1,300	1,060	175,179	2036/5/25
		FRTR 1.500 05/25/31	1.5	2,500	2,312	381,879	2031/5/25
		FRTR 2.500 05/25/30	2.5	700	693	114,472	2030/5/25
		FRTR 2.750 10/25/27	2.75	2,700	2,724	449,834	2027/10/25
		FRTR 3.250 05/25/45	3.25	1,200	1,171	193,368	2045/5/25
		FRTR 4.000 10/25/38	4.0	2,400	2,595	428,557	2038/10/25
		FRTR 4.500 04/25/41	4.5	1,100	1,259	207,900	2041/4/25
		FRTR 5.750 10/25/32	5.75	2,400	2,879	475,402	2032/10/25
オランダ	国債証券	NETHER 0.000 07/15/31	—	650	554	91,553	2031/7/15
		NETHER 0.250 07/15/29	0.25	300	273	45,122	2029/7/15
		NETHER 0.500 01/15/40	0.5	1,300	941	155,471	2040/1/15
		NETHER 0.750 07/15/27	0.75	300	289	47,758	2027/7/15
		NETHER 2.500 01/15/33	2.5	1,500	1,500	247,733	2033/1/15
スペイン	国債証券	SPGB 0.800 07/30/29	0.8	1,400	1,290	213,038	2029/7/30
		SPGB 1.500 04/30/27	1.5	1,600	1,567	258,800	2027/4/30
		SPGB 1.950 04/30/26	1.95	1,300	1,292	213,479	2026/4/30
		SPGB 1.950 07/30/30	1.95	2,500	2,408	397,650	2030/7/30
		SPGB 2.150 10/31/25	2.15	150	149	24,706	2025/10/31
		SPGB 2.350 07/30/33	2.35	200	191	31,562	2033/7/30
		SPGB 4.200 01/31/37	4.2	2,500	2,748	453,829	2037/1/31
		SPGB 4.700 07/30/41	4.7	2,500	2,897	478,352	2041/7/30
ベルギー	国債証券	BGB 0.800 06/22/25	0.8	200	197	32,666	2025/6/22
		BGB 0.800 06/22/27	0.8	300	288	47,696	2027/6/22
		BGB 0.900 06/22/29	0.9	900	838	138,502	2029/6/22
		BGB 1.600 06/22/47	1.6	1,300	940	155,318	2047/6/22
		BGB 3.000 06/22/34	3.0	1,100	1,110	183,284	2034/6/22

参考情報

銘 柄			第86期末				償還年月日
			利 率	額面金額	評 価 額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
ベルギー	国債証券	BGB 5.000 03/28/35	5.0	700	825	136,275	2035/3/28
オーストリア	国債証券	RAGB 0.000 02/20/31	—	250	212	35,154	2031/2/20
		RAGB 0.500 04/20/27	0.5	400	383	63,346	2027/4/20
		RAGB 0.750 02/20/28	0.75	400	380	62,810	2028/2/20
		RAGB 1.200 10/20/25	1.2	300	296	49,011	2025/10/20
		RAGB 1.500 02/20/47	1.5	1,000	754	124,649	2047/2/20
		RAGB 2.400 05/23/34	2.4	1,100	1,063	175,672	2034/5/23
フィンランド	国債証券	RFGB 3.000 09/15/34	3.0	1,000	1,015	167,745	2034/9/15
アイルランド	国債証券	IRISH 2.600 10/18/34	2.6	1,000	993	164,116	2034/10/18
合 計						13,390,397	

(注1) 邦貨換算金額は、2024年11月15日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

<しんきん米国ソブリン債マザーファンド>

下記は、しんきん米国ソブリン債マザーファンド全体(6,041,417千口)の内容です。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	第86期末							
	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千ドル	千ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	98,000	87,836	13,776,284	98.5	—	48.1	19.7	30.7
合計	98,000	87,836	13,776,284	98.5	—	48.1	19.7	30.7

(注1) 邦貨換算金額は、2024年11月15日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、このファンドが組み入れている親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切り捨て。

(注4) —印は組み入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	第86期末						
	利率	額面金額	評価額		償還年月日		
			外貨建金額	邦貨換算金額			
	%	千ドル	千ドル	千円			
アメリカ 国債証券	T-BOND 1.750 08/15/41	1.75	3,800	2,512	393,983	2041/8/15	
	T-BOND 2.500 05/15/46	2.5	4,300	3,000	470,613	2046/5/15	
	T-BOND 3.000 02/15/47	3.0	2,750	2,086	327,273	2047/2/15	
	T-BOND 3.125 02/15/42	3.125	3,600	2,949	462,638	2042/2/15	
	T-BOND 3.125 05/15/48	3.125	3,700	2,844	446,157	2048/5/15	
	T-BOND 3.500 02/15/39	3.5	1,500	1,341	210,456	2039/2/15	
	T-BOND 3.625 02/15/44	3.625	4,000	3,445	540,436	2044/2/15	
	T-BOND 4.375 05/15/40	4.375	3,000	2,936	460,484	2040/5/15	
	T-BOND 4.750 02/15/37	4.75	2,300	2,368	371,497	2037/2/15	
	T-BOND 5.250 02/15/29	5.25	1,100	1,143	179,317	2029/2/15	
	T-BOND 6.500 11/15/26	6.5	1,000	1,046	164,185	2026/11/15	
	T-NOTE 0.625 08/15/30	0.625	1,600	1,298	203,637	2030/8/15	
	T-NOTE 0.875 11/15/30	0.875	1,250	1,023	160,492	2030/11/15	
	T-NOTE 1.250 08/15/31	1.25	3,200	2,617	410,567	2031/8/15	
	T-NOTE 1.375 11/15/31	1.375	4,800	3,932	616,792	2031/11/15	
	T-NOTE 1.500 02/15/30	1.5	1,600	1,387	217,605	2030/2/15	
	T-NOTE 1.625 02/15/26	1.625	3,900	3,769	591,223	2026/2/15	
	T-NOTE 1.625 05/15/26	1.625	3,700	3,553	557,367	2026/5/15	
	T-NOTE 1.625 08/15/29	1.625	4,600	4,075	639,143	2029/8/15	
	T-NOTE 2.000 08/15/25	2.0	5,100	5,008	785,529	2025/8/15	
	T-NOTE 2.250 11/15/25	2.25	4,700	4,600	721,552	2025/11/15	
	T-NOTE 2.250 11/15/27	2.25	2,950	2,779	435,929	2027/11/15	
	T-NOTE 2.625 01/31/26	2.625	1,500	1,469	230,416	2026/1/31	
T-NOTE 2.625 02/15/29	2.625	1,000	934	146,492	2029/2/15		
T-NOTE 2.875 05/31/25	2.875	3,150	3,123	489,858	2025/5/31		
T-NOTE 3.125 11/15/28	3.125	4,400	4,205	659,634	2028/11/15		

参考情報

銘		柄		第86期末				
				利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
						外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ			%	千ドル	千ドル	千円		
国債証券	T-NOTE 3.500 02/15/33		3.5	1,700	1,591	249,599	2033/2/15	
	T-NOTE 4.375 05/15/34		4.375	2,900	2,883	452,206	2034/5/15	
特殊債券 (除く金融債)	ASIA 1.875 01/24/30		1.875	5,300	4,681	734,287	2030/1/24	
	IADB 2.125 01/15/25		2.125	3,400	3,385	530,978	2025/1/15	
	IADB 4.125 02/15/29		4.125	1,400	1,386	217,390	2029/2/15	
	IBRD 0.750 11/24/27		0.75	2,200	1,975	309,902	2027/11/24	
	IBRD 1.875 10/27/26		1.875	2,600	2,477	388,631	2026/10/27	
合 計						13,776,284		

(注1) 邦貨換算金額は、2024年11月15日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

運用報告書

親投資信託

しんきん欧州ソブリン債マザーファンド

第21期

(決算日：2024年2月8日)

しんきん欧州ソブリン債マザーファンドの第21期に係る運用状況をご報告申し上げます。

○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	①主として欧州経済通貨同盟（EMU）参加国の国債、政府機関債および国際機関債に投資します。 ②FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとします。 ③運用にあたっては、マクロ経済分析等のファンダメンタルズ分析、債券市場分析等をふまえて投資戦略を決定し、ポートフォリオの構築を図ります。 ④外貨建資産の組入比率については原則として高位を保ちます。 ⑤外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ⑥市況動向あるいは資金動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。
主要投資対象	EMU参加国の国債、政府機関債および国際機関債を主要投資対象とします。
投資制限	①株式への投資は行いません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ③同一銘柄の転換社債、ならびに新株予約権付社債のうち会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの（以下会社法施行前の旧商法第341条ノ3第1項第7号および第8号の定めがある新株予約権付社債を含め「転換社債型新株予約権付社債」といいます。）への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ④投資信託証券への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		ベンチマーク		債組入比率	純資産総額
	円	騰落率	FTSE EMU 国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)	騰落率		
17期(2020年2月10日)	15,958	2.7%	231.99	4.7%	98.5%	13,040 百万円
18期(2021年2月8日)	16,988	6.5%	249.57	7.6%	98.3%	12,436
19期(2022年2月8日)	16,661	△1.9%	244.25	△2.1%	98.3%	12,675
20期(2023年2月8日)	15,046	△9.7%	225.13	△7.8%	98.2%	12,701
21期(2024年2月8日)	17,508	16.4%	264.17	17.3%	98.0%	13,585

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ベンチマーク		債組入比率	騰落率
	円	騰落率	FTSE EMU 国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)	騰落率		
(期首) 2023年2月8日	15,046	—	225.13	—	98.2%	
2月末	15,139	0.6%	225.89	0.3%	97.9%	
3月末	15,509	3.1%	231.57	2.9%	97.9%	
4月末	15,668	4.1%	240.53	6.8%	97.9%	
5月末	16,015	6.4%	239.31	6.3%	98.4%	
6月末	16,808	11.7%	252.64	12.2%	98.2%	
7月末	16,529	9.9%	250.55	11.3%	98.3%	
8月末	16,984	12.9%	253.58	12.6%	98.3%	
9月末	16,288	8.3%	246.73	9.6%	98.1%	
10月末	16,575	10.2%	250.98	11.5%	98.4%	
11月末	17,419	15.8%	260.56	15.7%	98.4%	
12月末	17,638	17.2%	260.58	15.7%	98.1%	
2024年1月末	17,577	16.8%	264.54	17.5%	98.1%	
(期末) 2024年2月8日	17,508	16.4%	264.17	17.3%	98.0%	

(注) 騰落率は期首比です。

※1 「FTSE EMU国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスで、EMU加盟国の国債で構成されています。

※2 「FTSE EMU国債インデックス」は「FTSE世界国債インデックス」のサブ・インデックスです。

※3 「FTSE世界国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

※4 上記指数は、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。同社は、当ファンドの運用成績などに関する一切の責任を負いません。

○第21期の運用経過等（2023年2月9日～2024年2月8日）

＜当期中の基準価額等の推移＞



当ファンドは、FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとし、主として欧州経済通貨同盟（EMU）参加国の国債、政府機関債および国際機関債に投資しています。

当期における基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

＜上昇要因＞

- ・インフレ高進を抑制するため、欧州中央銀行（ECB）政策理事会が、2023年9月まで継続的な利上げを実施していたことで、ドイツを中心とした欧州国債全体の金利が上昇傾向となったことや、9月のECB政策理事会後、ラガルド総裁が利下げを現段階では議論していないと発言したこと等を受けて、11月までユーロ高円安が大きく進んだこと。
- ・2023年11月の米連邦公開市場委員会（FOMC）で米政策金利の据え置きが決定され、FOMC後に行ったパウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長の発言が、利上げ終了を示唆するものと市場で受け止められ、米国債金利が大きく低下した流れが欧州国債にも波及し、年末にかけて欧州国債金利も大きく低下したこと。

＜下落要因＞

- ・インフレ高進を抑制するため、ECB政策理事会が、2023年9月まで継続的な利上げを実施していたことや、米国債金利の上昇の流れを受けて、10月頃までドイツを中心とした欧州国債全体の金利が上昇傾向となったこと。

<投資環境>

(欧州債券市況)

当期初は、ECBが2022年よりインフレ圧力抑制のため利上げを継続的に実施していたため、欧州国債金利は上昇基調で推移しました。2023年3月中旬は、米シリコンバレーバンク(SVB)の経営破綻によるリスク回避の動きが欧州全体にも広がり、欧州国債金利は低下しました。その後は、ECBが継続的な利上げを実施していたことや、9月のECB政策理事会後、ラガルド総裁が利下げを現段階では議論していないと発言したこと等を受けて、10月ごろまで欧州国債金利は上昇基調で推移しました。しかし、11月のFOMCで米政策金利の据え置きが決定され、FOMC後に行ったパウエルFRB議長の発言が利上げ終了を示唆するものと市場で受け止められ、米国債金利が大きく低下した流れが欧州国債にも波及し、年末にかけて欧州国債金利も大きく低下しました。2024年初以降は、ドイツの1月の製造業購買担当者景気指数(PMI)の改定値が速報値から上方修正されたことで、早期の利下げ観測が後退したことや、米雇用関連統計の良好な結果を受けた米国債の金利上昇に連れて、欧州国債金利はやや上昇しました。

(為替市況：ユーロ円市場)

当期初から、インフレ高進を抑制するためにECBが大幅な利上げを行ってきたこと等を背景に、2023年11月まではユーロが円に対して強含みました。一方で、年末にかけては、上記要因等を受けた欧州国債金利の低下や、日本銀行の植田総裁が12月に行われた参議院財政金融委員会で、今後の金融政策について「年末から来年にかけて一段とチャレンジングになる」と発言したことで、12月以降の日銀金融政策決定会合で金融政策修正の可能性が意識されたこと等が材料視され、円が買い戻されました。その後、当期末にかけては、欧州国債金利の上昇に連れて、再びユーロ高円安となりました。

<当ファンドのポートフォリオ>

当期を通じて、欧州ソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE EMU国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)をベンチマークとして、ポートフォリオを構築しています。

国別配分については、ドイツ、フランス、スペイン、オランダ、オーストリアおよびベルギーの各国債でポートフォリオを構築しています。

投資国各国の国債インデックスに対する修正デュレーション(金利感応度)は、中立を基本としました。2024年2月8日現在におけるファンドの修正デュレーションは7.36年、時価最終利回りは2.76%となっています。

<当ファンドのベンチマークとの差異>

当期における基準価額の騰落率は+16.4%となりました。一方、ベンチマークであるFTSE EMU国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)の騰落率は+17.3%でした。この差には、ファンドとベンチマークにおける債券組入銘柄の違い、為替の評価タイミングのずれや、追加設定・解約による要因等が含まれています。

<今後の運用方針>

引き続き、運用の基本方針に従い、主としてEMU参加国の国債、政府機関債および国際機関債に投資し、安定した収益の確保および投資信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2023年2月9日～2024年2月8日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 7	% 0.043	(a)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(7)	(0.043)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	7	0.043	
期中の平均基準価額は、16,512円です。			

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

○売買及び取引の状況

(2023年2月9日～2024年2月8日)

公社債

外 国	ユーロ		買 付 額	売 付 額
			千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	国債証券	4,648	4,909
	フランス	国債証券	4,859	7,891
	オランダ	国債証券	1,568	1,284
	スペイン	国債証券	2,723	4,157
	ベルギー	国債証券	1,468	2,184
	オーストリア	国債証券	1,685	1,922

(注1) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれていません。)

(注2) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2023年2月9日～2024年2月8日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年2月8日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千ユーロ	千ユーロ	千円	%	%	%	%	%
ユーロ								
ドイツ	21,450	22,358	3,570,173	26.3	—	19.4	5.8	1.0
フランス	29,250	28,711	4,584,649	33.7	—	23.3	6.8	3.7
オランダ	5,800	5,199	830,325	6.1	—	5.1	1.0	—
スペイン	17,000	16,861	2,692,445	19.8	—	14.7	4.0	1.2
ベルギー	6,400	6,108	975,380	7.2	—	6.1	0.7	0.5
オーストリア	4,650	4,114	656,930	4.8	—	2.8	1.3	0.7
合 計	84,550	83,353	13,309,905	98.0	—	71.4	19.6	7.0

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切り捨て。

(注4) ー印は組み入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

しんきん欧州ソブリン債マザーファンド ー第21期ー

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			当 期 末				償還年月日	
			利 率	額面金額	評 価 額			
					外貨建金額	邦貨換算金額		
			%	千ユーロ	千ユーロ	千円		
ユーロ	ドイツ	国債証券	DBR 0.000 08/15/31	—	2,300	1,955	312,225	2031/8/15
			DBR 0.250 02/15/29	0.25	2,200	1,999	319,330	2029/2/15
			DBR 0.500 02/15/26	0.5	2,300	2,205	352,235	2026/2/15
			DBR 1.000 08/15/25	1.0	900	875	139,803	2025/8/15
			DBR 1.700 08/15/32	1.7	3,100	2,977	475,371	2032/8/15
			DBR 3.250 07/04/42	3.25	1,650	1,816	290,109	2042/7/4
			DBR 4.000 01/04/37	4.0	3,400	3,983	636,127	2037/1/4
			DBR 4.750 07/04/28	4.75	2,500	2,757	440,393	2028/7/4
		DBR 4.750 07/04/34	4.75	3,100	3,786	604,577	2034/7/4	
フランス	国債証券	FRTR 0.000 11/25/31	—	2,500	2,038	325,464	2031/11/25	
		FRTR 0.500 05/25/25	0.5	2,800	2,710	432,770	2025/5/25	
		FRTR 1.000 05/25/27	1.0	2,550	2,424	387,148	2027/5/25	
		FRTR 1.250 05/25/34	1.25	2,300	1,975	315,484	2034/5/25	
		FRTR 1.250 05/25/36	1.25	1,600	1,317	210,409	2036/5/25	
		FRTR 1.500 05/25/31	1.5	2,700	2,501	399,475	2031/5/25	
		FRTR 2.250 05/25/24	2.25	400	398	63,555	2024/5/25	
		FRTR 2.500 05/25/30	2.5	2,400	2,389	381,599	2030/5/25	
		FRTR 2.750 10/25/27	2.75	3,300	3,319	530,105	2027/10/25	
		FRTR 3.250 05/25/45	3.25	2,900	2,892	461,832	2045/5/25	
		FRTR 4.000 10/25/38	4.0	2,900	3,215	513,457	2038/10/25	
				FRTR 4.500 04/25/41	4.5	700	822	131,314
		FRTR 5.750 10/25/32	5.75	2,200	2,705	432,030	2032/10/25	
オランダ	国債証券	NETHER 0.000 07/15/31	—	500	416	66,517	2031/7/15	
		NETHER 0.250 07/15/29	0.25	500	445	71,105	2029/7/15	
		NETHER 0.500 01/15/40	0.5	1,400	995	159,030	2040/1/15	
		NETHER 0.500 07/15/26	0.5	100	95	15,197	2026/7/15	
		NETHER 0.750 07/15/27	0.75	800	755	120,715	2027/7/15	
		NETHER 2.500 01/15/33	2.5	2,500	2,490	397,758	2033/1/15	
スペイン	国債証券	SPGB 0.800 07/30/29	0.8	3,700	3,315	529,498	2029/7/30	
		SPGB 1.500 04/30/27	1.5	2,000	1,921	306,753	2027/4/30	
		SPGB 1.950 04/30/26	1.95	1,500	1,470	234,799	2026/4/30	
		SPGB 1.950 07/30/30	1.95	3,000	2,829	451,830	2030/7/30	
		SPGB 2.150 10/31/25	2.15	1,000	986	157,599	2025/10/31	
		SPGB 2.350 07/30/33	2.35	400	373	59,602	2033/7/30	
		SPGB 4.200 01/31/37	4.2	2,700	2,910	464,701	2037/1/31	
		SPGB 4.700 07/30/41	4.7	2,700	3,053	487,659	2041/7/30	
ベルギー	国債証券	BGB 0.800 06/22/25	0.8	400	388	61,988	2025/6/22	
		BGB 0.800 06/22/27	0.8	600	566	90,399	2027/6/22	
		BGB 0.900 06/22/29	0.9	1,200	1,101	175,819	2029/6/22	
		BGB 1.600 06/22/47	1.6	1,500	1,075	171,759	2047/6/22	
		BGB 3.000 06/22/34	3.0	1,300	1,310	209,233	2034/6/22	
		BGB 5.000 03/28/35	5.0	1,400	1,666	266,180	2035/3/28	
オーストリア	国債証券	RAGB 0.000 02/20/31	—	250	207	33,117	2031/2/20	
		RAGB 0.500 04/20/27	0.5	500	468	74,767	2027/4/20	
		RAGB 0.750 02/20/28	0.75	700	651	104,051	2028/2/20	

しんきん欧州ソブリン債マザーファンド ー第 21 期ー

銘 柄			当 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
オーストリア	国債証券	RAGB 1.200 10/20/25	1.2	600	583	93,192	2025/10/20
		RAGB 1.500 02/20/47	1.5	1,300	956	152,689	2047/2/20
		RAGB 2.400 05/23/34	2.4	1,300	1,246	199,111	2034/5/23
合 計						13,309,905	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2024年2月8日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	13,309,905	98.0
コール・ローン等、その他	275,184	2.0
投資信託財産総額	13,585,089	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産 (13,504,844千円) の投資信託財産総額 (13,585,089千円) に対する比率は99.4%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2024年2月8日現在、1ユーロ＝159.68円です。

しんきん欧州ソブリン債マザーファンド ー 第 21 期 ー

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年2月8日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	13,585,089,751	
コール・ローン等	127,439,896	
公社債(評価額)	13,309,905,235	
未収利息	139,935,965	
前払費用	7,808,655	
(B) 負債	1,456	
未払利息	233	
その他未払費用	1,223	
(C) 純資産総額(A-B)	13,585,088,295	
元本	7,759,452,871	
次期繰越損益金	5,825,635,424	
(D) 受益権総口数	7,759,452,871口	
1万口当たり基準価額(C/D)	17,508円	

(注1) 当親投資信託の期首元本額は8,441,728,106円、期中追加設定元本額は1,124,842,247円、期中一部解約元本額は1,807,117,482円です。

(注2) 当親投資信託を投資対象とする投資信託の当期末元本額

しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	5,933,180,203円
しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)	632,735,669円
しんきん3資産ファンド(1年決算型)	377,606,627円
しんきん世界アロケーションファンド	208,896,065円
しんきん世界アロケーションファンド(積極型)	194,437,895円
欧米ソブリン債ポートフォリオ	149,873,095円
欧州ソブリン債ポートフォリオ	137,568,596円
しんきんグローバル6資産ファンド(1年決算型)	125,154,721円

(注3) 1口当たり純資産額は1.7508円です。

○損益の状況 (2023年2月9日~2024年2月8日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	315,592,607	
受取利息	315,628,584	
その他収益金	719	
支払利息	△ 36,696	
(B) 有価証券売買損益	1,722,558,349	
売買益	1,866,068,751	
売買損	△ 143,510,402	
(C) 保管費用等	△ 5,951,688	
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,032,199,268	
(E) 前期繰越損益金	4,260,108,893	
(F) 追加信託差損益金	696,597,753	
(G) 解約差損益金	△1,163,270,490	
(H) 計(D+E+F+G)	5,825,635,424	
次期繰越損益金(H)	5,825,635,424	

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<約款変更のお知らせ>

当ファンドを投資対象とするベビーファンドを新NISA制度における成長投資枠の対象商品とするため、デリバティブ取引を行う目的について投資信託約款に所要の変更を行いました。(2023年9月9日実施)

運用報告書

親投資信託

しんきん米国ソブリン債マザーファンド

第21期

(決算日：2024年2月8日)

しんきん米国ソブリン債マザーファンドの第21期に係る運用状況をご報告申し上げます。

○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	<p>①主として米国の国債、政府機関債および国際機関債に投資します。</p> <p>②FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとします。</p> <p>③運用にあたっては、マクロ経済分析等のファンダメンタルズ分析、債券市場分析等をふまえて投資戦略を決定し、ポートフォリオの構築を図ります。</p> <p>④外貨建資産の組入比率については原則として高位を保ちます。</p> <p>⑤外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>⑥市況動向あるいは資金動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。</p>
主要投資対象	米国の国債、政府機関債および国際機関債を主要投資対象とします。
投資制限	<p>①株式への投資は行いません。</p> <p>②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</p> <p>③同一銘柄の転換社債、ならびに新株予約権付社債のうち会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの（以下会社法施行前の旧商法第341条ノ3第1項第7号および第8号の定めがある新株予約権付社債を含め「転換社債型新株予約権付社債」といいます。）への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。</p> <p>④投資信託証券への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。</p>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		ベンチマーク		債組入比率	純資産額
	期騰落	中率	F T S E 米 国 国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)	期騰落		
17期(2020年2月10日)	円	%	ポイント	%	%	百万円
17期(2020年2月10日)	17,061	8.5	393.90	8.7	98.5	13,343
18期(2021年2月8日)	17,139	0.5	392.59	△ 0.3	98.6	12,510
19期(2022年2月8日)	18,027	5.2	415.21	5.8	98.5	12,921
20期(2023年2月8日)	18,693	3.7	433.40	4.4	98.6	12,701
21期(2024年2月8日)	21,473	14.9	497.07	14.7	98.5	14,047

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ベンチマーク		債組入比率	券率
	騰落	率	F T S E 米 国 国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)	騰落		
(期首) 2023年2月8日	円	%	ポイント	%	%	
	18,693	—	433.40	—	98.6	
2月末	19,165	2.5	442.00	2.0	99.0	
3月末	19,244	2.9	444.26	2.5	98.7	
4月末	19,416	3.9	456.98	5.4	98.6	
5月末	20,052	7.3	463.48	6.9	99.0	
6月末	20,674	10.6	475.93	9.8	98.8	
7月末	20,068	7.4	466.21	7.6	98.3	
8月末	20,698	10.7	475.27	9.7	98.8	
9月末	20,711	10.8	476.42	9.9	98.7	
10月末	20,478	9.5	477.67	10.2	98.5	
11月末	20,894	11.8	482.32	11.3	98.2	
12月末	20,790	11.2	475.38	9.7	98.8	
2024年1月末	21,444	14.7	491.59	13.4	98.4	
(期末) 2024年2月8日	21,473	14.9	497.07	14.7	98.5	

(注) 騰落率は期首比です。

- ※1 「FTSE米国国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスで、米国の国債で構成されています。
- ※2 「FTSE米国国債インデックス」は「FTSE世界国債インデックス」のサブ・インデックスです。
- ※3 「FTSE世界国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。
- ※4 上記指数は、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。同社は、当ファンドの運用成績などに関する一切の責任を負いません。

○第21期の運用経過等（2023年2月9日～2024年2月8日）

<当期中の基準価額等の推移>



当ファンドは、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとし、主として米国の国債、政府機関債および国際機関債に投資しています。

当期における基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

<上昇要因>

- ・米連邦準備制度理事会（FRB）がインフレ高進を抑制するため、利上げを継続的に実施していたことや、米政策金利がより長期にわたって高水準で維持される公算が大きいと市場で見られていたこと等を背景として、米国債金利が上昇傾向となる中、日米金利差の拡大を意識した米ドル買い円売りが優勢となり、米ドル高円安が進んだこと。

<下落要因>

- ・米連邦公開市場委員会（FOMC）において、継続的に利上げが決定されていたことや、その後も政策金利を高い水準でしばらく維持する可能性が高いとFRB高官等が示唆していたこと等を受けて、米国債金利が上昇したこと。

＜投資環境＞

（米国国債市況）

当期初から2023年10月ごろまでは、FRBがインフレ高進を抑制するため、利上げを継続的に実施していたことや、利上げ停止後も米政策金利がより長期にわたって高水準で維持される公算が大きいと市場で見られていたこと等を背景に、米国債金利は上昇傾向で推移しました。その後は、11月のFOMCで米政策金利の据え置きが決定され、FOMC後に行ったパウエルFRB議長の発言が、利上げ終了を示唆するものと市場で受け止められたことや、12月のFOMCで、2024年に複数回の金利引下げを行うとの見通しが示されたこと等を要因として、当期末にかけて米国債金利は大きく低下しました。

（為替市況：ドル円市場）

当期初から2023年10月ごろまでは、FRBがインフレ高進を抑制するため、利上げを継続的に実施したこと米国債金利が上昇したことを受けて、米ドル高円安基調で推移しました。11月から12月までの米ドル円相場は、利下げ終了を示唆する発言をパウエルFRB議長が行ったこと等を受けて、米国債金利が大きく低下したことで米ドルが売られ、米ドル安円高が進みました。一方で、2024年に入ってから、市場の早期利下げ期待をけん制する旨のFRB高官の発言等が材料視され、米国の早期利下げ観測がやや後退したことや、元日に発生した能登半島地震の影響を考慮し、1月の日銀金融政策決定会合では金融政策の修正は行われないと市場で予想されていたことで、米ドルが買い戻されました。

＜当ファンドのポートフォリオ＞

当期を通じて、米国国債等の組入比率を高位に保ち、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとして、ポートフォリオを構築しています。

ベンチマークに対する修正デュレーション（金利感応度）は、中立を基本としました。2024年2月8日現在におけるファンドの修正デュレーションは5.95年、時価最終利回りは4.42%となっています。また、ファンドの利回り向上を図るため、米国国債のほか、国際復興開発銀行（世界銀行：IBRD）、米州開発銀行（IADB）、アジア開発銀行（ADB）発行の債券を組み入れています。

＜当ファンドのベンチマークとの差異＞

当期における基準価額の騰落率は+14.9%となりました。ベンチマークであるFTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）の騰落率は+14.7%となっています。この差には、ファンドとベンチマークにおける組入銘柄の違い、債券および為替の評価タイミングのずれや、追加設定・解約による要因等が含まれています。

＜今後の運用方針＞

引き続き、運用の基本方針に従い、主として米国の国債、政府機関債および国際機関債に投資し、安定した収益の確保および投資信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2023年2月9日～2024年2月8日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 5	% 0.024	(a)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(5)	(0.023)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	5	0.024	
期中の平均基準価額は、20,302円です。			

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

○売買及び取引の状況

(2023年2月9日～2024年2月8日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	国債証券	千ドル 21,745	千ドル 22,661

(注1) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれていません。)

(注2) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2023年2月9日～2024年2月8日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年2月8日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千ドル 103,700	千ドル 93,387	千円 13,835,421	% 98.5	% —	% 49.4	% 19.6	% 29.4
合 計	103,700	93,387	13,835,421	98.5	—	49.4	19.6	29.4

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切り捨て。

(注4) ー印は組み入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

しんきん米国ソブリン債マザーファンド ー第21期ー

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	当		期		償還年月日
		利率	額面金額	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ		%	千ドル	千ドル	千円	
	国債証券					
	T-BOND 1.750 08/15/41	1.75	3,800	2,561	379,476	2041/8/15
	T-BOND 2.500 05/15/46	2.5	4,300	3,106	460,289	2046/5/15
	T-BOND 3.000 02/15/47	3.0	2,500	1,971	292,075	2047/2/15
	T-BOND 3.125 02/15/42	3.125	4,600	3,859	571,839	2042/2/15
	T-BOND 3.125 05/15/48	3.125	3,700	2,964	439,166	2048/5/15
	T-BOND 3.500 02/15/39	3.5	2,500	2,299	340,687	2039/2/15
	T-BOND 3.625 02/15/44	3.625	4,000	3,561	527,599	2044/2/15
	T-BOND 4.375 05/15/40	4.375	3,000	3,022	447,713	2040/5/15
	T-BOND 4.750 02/15/37	4.75	2,300	2,455	363,731	2037/2/15
	T-BOND 5.250 02/15/29	5.25	1,100	1,158	171,673	2029/2/15
	T-BOND 6.500 11/15/26	6.5	1,000	1,058	156,778	2026/11/15
	T-NOTE 0.625 08/15/30	0.625	1,600	1,284	190,243	2030/8/15
	T-NOTE 0.875 11/15/30	0.875	3,450	2,802	415,243	2030/11/15
	T-NOTE 1.125 01/15/25	1.125	4,200	4,057	601,132	2025/1/15
	T-NOTE 1.250 08/15/31	1.25	3,200	2,615	387,430	2031/8/15
	T-NOTE 1.375 11/15/31	1.375	3,800	3,114	461,349	2031/11/15
	T-NOTE 1.500 02/15/30	1.5	1,600	1,380	204,530	2030/2/15
	T-NOTE 1.625 02/15/26	1.625	3,900	3,692	546,977	2026/2/15
	T-NOTE 1.625 05/15/26	1.625	3,700	3,485	516,357	2026/5/15
	T-NOTE 1.625 08/15/29	1.625	1,900	1,675	248,157	2029/8/15
	T-NOTE 2.000 08/15/25	2.0	4,900	4,716	698,740	2025/8/15
	T-NOTE 2.250 11/15/24	2.25	650	636	94,292	2024/11/15
	T-NOTE 2.250 11/15/25	2.25	4,500	4,329	641,388	2025/11/15
	T-NOTE 2.250 11/15/27	2.25	2,950	2,756	408,429	2027/11/15
	T-NOTE 2.375 08/15/24	2.375	3,900	3,843	569,479	2024/8/15
	T-NOTE 2.625 01/31/26	2.625	1,500	1,449	214,768	2026/1/31
	T-NOTE 2.625 02/15/29	2.625	2,550	2,381	352,872	2029/2/15
	T-NOTE 2.750 02/28/25	2.75	600	587	87,025	2025/2/28
	T-NOTE 2.875 05/31/25	2.875	5,100	4,984	738,476	2025/5/31
	T-NOTE 3.125 11/15/28	3.125	3,400	3,259	482,853	2028/11/15
	特殊債券 (除く金融債)					
	ASIA 1.875 01/24/30	1.875	5,300	4,635	686,727	2030/1/24
	IADB 2.125 01/15/25	2.125	3,400	3,312	490,710	2025/1/15
	IBRD 0.750 11/24/27	0.75	2,200	1,932	286,292	2027/11/24
	IBRD 1.875 10/27/26	1.875	2,600	2,436	360,911	2026/10/27
合	計				13,835,421	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2024年2月8日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	13,835,421	98.5
コール・ローン等、その他	212,516	1.5
投資信託財産総額	14,047,937	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産(13,992,863千円)の投資信託財産総額(14,047,937千円)に対する比率は99.6%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2024年2月8日現在、1ドル=148.15円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年2月8日現在)

○損益の状況 (2023年2月9日~2024年2月8日)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	14,047,937,700
コール・ローン等	93,707,750
公社債(評価額)	13,835,421,993
未収利息	114,358,534
前払費用	4,449,423
(B) 負債	1,416
未払利息	160
その他未払費用	1,256
(C) 純資産総額(A-B)	14,047,936,284
元本	6,542,253,274
次期繰越損益金	7,505,683,010
(D) 受益権総口数	6,542,253,274口
1万口当たり基準価額(C/D)	21,473円

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	370,483,406
受取利息	370,518,029
支払利息	△ 34,623
(B) 有価証券売買損益	1,501,503,193
売買益	1,850,131,222
売買損	△ 348,628,029
(C) 保管費用等	△ 3,237,742
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,868,748,857
(E) 前期繰越損益金	5,906,333,637
(F) 追加信託差損益金	916,667,280
(G) 解約差損益金	△1,186,066,764
(H) 計(D+E+F+G)	7,505,683,010
次期繰越損益金(H)	7,505,683,010

(注1) 当親投資信託の期首元本額は6,794,667,025円、期中追加設定元本額は908,642,720円、期中一部解約元本額は1,161,056,471円です。

(注2) 当親投資信託を投資対象とする投資信託の当期末元本額
 しんきん3資産ファンド(毎月決算型) 5,002,261,771円
 しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型) 532,517,868円
 しんきん3資産ファンド(1年決算型) 307,397,956円
 しんきん世界アロケーションファンド 171,255,418円
 しんきん世界アロケーションファンド(積極型) 159,731,399円
 米国ソブリン債ポートフォリオ 145,143,887円
 欧米ソブリン債ポートフォリオ 121,566,782円
 しんきんグローバル6資産ファンド(1年決算型) 102,378,193円

(注3) 1口当たり純資産額は2.1473円です。

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<約款変更のお知らせ>

当ファンドを投資対象とするベビーファンドを新NISA制度における成長投資枠の対象商品とするため、デリバティブ取引を行う目的について投資信託約款に所要の変更を行いました。(2023年9月9日実施)